

ふくいの県産品マッチング機会創出支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	(公財)ふくい産業支援センター				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県10/10											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [II 成長を創る(産業力)] 政策 [6 創業・新事業展開の推進]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン、ふくい創生・人口減少対策戦略]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線開業に伴い、県産品を通して、福井県の魅力を首都圏をはじめとする県外に広く発信していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 商業動態統計 2021年商業販売額(経済産業省) 商業販売額 551兆9,100億円(前年比 6.0%)【内訳】卸売業 401兆4,480億円(前年比 7.7%) 小売業150兆4,620億円(前年比 1.9%)						
[事業目的] 北陸新幹線の福井・敦賀間開業を契機に、食品や生活雑貨等の県産品を製造する県内中小事業者は、販売先や商談機会のさらなる拡大に向けて、新たな販売先や商談機会を求めているため、県内事業者と県内外の流通業者等のマッチング機会を創出することで販路拡大を支援する。												
[事業内容] (1)展示会への出展支援(年1回)(8,371千円(企業負担あり)) 東京インターナショナル ギフト・ショー LIFE×DESIGN展(9月) 支援企業:12社 企業負担:27万円(初回~2回目) (2)個別商談会の開催(年3回)(445千円) ・百貨店等の県外流通業者との商談会(対面およびWEB)を開催 支援企業:90社(30社×3回)												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 約100社						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいの食品戦略的販路拡大支援事業 (実績) ・3年間で240社支援				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		・事業者への当該事業の募集案内の広報を依頼				他県の状況		・岐阜県、長野県、和歌山県などにおいて、首都圏での大規模展示会への出展支援事業を行っている。 ・石川県において、県内の小売店バイヤーが来場する展示会、首都圏の食品バイヤーを招聘した商談会の同時開催				

ふくいの県産品マッチング機会創出支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦		
事業主体	(公財)ふくい産業支援センター				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金					<input type="checkbox"/> その他
補助率	県10/10							<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	8,816	4,408			4,408	新しい地方経済・生活環境創生交付金							
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		9,259	9,259	8,672	8,837	8,816	展示会への出展支援をLIFE×DESIGN展のみに変更したことによる事業費減						
2月現計予算額の推移		9,259	9,259	8,336	8,837								
決算額の推移		8,078	7,654	8,134									
前年度までの 主な増減理由	令和5年度:広報用印刷物の発行枚数の見直しによる縮減および展示会の出店支援における事業者負担の見直し調整 令和6年度:「東京インターナショナルギフトショー-LIFE×DESIGN展」に出展するにあたり、ブースデザインや企業へのセミナー料を新規計上 テストマーケティングへの旅費支援事業の廃止												
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	商談成立事業者数	(目標) (50) 実績 27	(50) (50) 33	(50) (50) 47	(50) (50) (50)	(50) (50) (50)	(300)	(300)	前事業「ふくいの食品戦略的販路拡大支援事業」の成立平均企業数20社+増加分30社				
活動指標	支援事業者数	(目標) (114) 実績 59	(114) (114) 70	(114) (114) 82	(114) (114) (114)	(114) (114) (114)	(684)	(684)				6年間で666事業者支援 (R3~R5:114件、R6~R8:108件)	
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
令和5年度 商談成立件数 130件 令和6年度2月末現在 支援事業者数 69社 令和6年度の商談成立件数は現在調査中。				令和6年度から東京インターナショナル ギフト・ショー(9月)での出展エリアをLIFE×DESIGN展に変更し、事業者から好評だったこと等を踏まえ、展示会への出展支援をLIFE×DESIGN展のみに変更				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	21		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

県産品の商品開発・291によるセレクト事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託、直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [II 成長を創る(産業力)] 政策 [6 創業・新事業展開の推進]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業に伴う県産品の認知度向上、販路拡大						[問題・課題を表す客観的データ] 令和3年 経済センサス 製造品出荷額等(従業員4人以上の事業所) 絹・人絹織物 2兆3,099億円(前年比 ▲26%)洋紙・和紙・ふすま紙 2,342億円(前年比 ▲21%)、漆器 4,760億円(前年比 ▲26%)						
[事業目的] ふくい南青山291において県内の企業・グループ等が商品開発にチャレンジし、ブランドとして育て、売り上げ拡大につなげるため、首都圏のクリエイター等を活用し、デザインの力を取り入れた商品開発を支援するとともに、291として商品をセレクトし、首都圏での販売力を活かして県内事業者の成長を図る												
[事業内容] (1)新商品開発支援 ・首都圏の事業者と県内の事業者が協働し、首都圏に向けた販路拡大を目指す商品開発を支援 ・商品開発を目指す事業者に対しセミナー・ワークショップを開催し、商品開発を促進 (2)291による商品セレクト・ブラッシュアップ ・首都圏に向けた販路拡大が見込め、福井の魅力を発信できる商品を、291セレクト商品として選定 (3)291セレクト商品の販路開拓支援 ・首都圏の大型商業施設等で実施する「福井フェア」特設ブースを通して販売とPR ・スーパー・百貨店等での県産品のテスト販売支援 ・首都圏で行われる展示会や販売会への出展 ・市町の出向宣伝・首都圏進出のための市町出張アンテナショップ ・都内セレクトショップと連携したインバウンド観光客への販売及び誘客支援 ・ミラノデザインウィークへの出展を契機とした伝統工芸品の欧州市場獲得強化												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 約300社						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

県産品の商品開発・291によるセレクト事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託、直営					□ 法定受託事務							
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	175,862	8,040			167,822								
[予算額の推移等]												(単位:千円)	
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				110,258	130,838	175,862	販路開拓支援について、市町の出向宣伝・首都圏進出のための市町出張アンテナショップ事業、ミラノデザインウィークへの出展を契機とした伝統工芸品の欧州市場獲得強化事業を追加した。						
2月現計予算額の推移				125,840	146,420								
決算額の推移				109,438									
前年度までの 主な増減理由	令和5年度:2月補正予算において都内セレクトショップと連携したインバウンド観光客への販売および誘客支援の事業費を追加(国経済対策による前倒し)												
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	開発された新商品 (目標) 実績			(70) 70	(70) 71	(70)	(70)	(70)	年間70件の新商品開発を支援				
活動指標	商品開発促進イベント実施 回数(回) (目標) 実績			(3) 3	(6) 6	(6)	(6)	(6)	商品開発を促進するためのワークショップ・セミナーを年間6回以上開催				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
首都圏のクリエイター等と連携した商品開発支援件数:71件 首都圏のクリエイター等と県内事業者のマッチングやイベント等の実施により、成果指標を目標どおり達成				販路開拓支援として下記メニューを追加 ・市町の出向宣伝・首都圏進出のための市町出張アンテナショップ ・ミラノデザインウィークへの出展を契機とした伝統工芸品の欧州市場獲得強化				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

福井県ビジネス支援センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費・標準外経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 24 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託			□ 補助金								
補助率	—			□ その他								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る(産業力)] 政策 [6 創業・新事業展開の推進]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 県内中小企業単体では首都圏での販路開拓や情報発信が困難である。アンテナショップによって情報発信やメディア等の媒体を活用したPR活動を実施することにより、首都圏に向けて福井県産品および福井県のイメージの普及、向上を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 商業動態統計 2021年商業販売額(経済産業省) 商業販売額 551兆9,100億円(前年比 6.0%)【内訳】卸売業 401兆4,480億円(前年比 7.7%)、小売業 150兆4,620億円(前年比 1.9%)						
[事業目的] 東京南青山の県有地に民間事業者が建設する建物を借り受け、南青山拠点において、県内企業の新たなビジネス展開支援と食によるブランド発信拠点として事業展開するとともに、銀座に立地する民間事業者が所有する建物を借り受け、銀座拠点において、本県の魅力ある県産品や観光移住情報発信等を行う。												
[事業内容] (1) 県有地の貸付と建物の借受 東急不動産(株)に対し、東京・南青山の県有地を事業用借地権により貸し付け、当該地に東急不動産が建設する建物の一部をビジネス支援拠点施設として借り受ける。 ①土地 面積:1996.70㎡ 契約期間:令和3年10月16日～令和15年3月31日 ②建物 面積: 998.41㎡ 契約期間:令和3年8月16日～令和14年9月30日 (2) 銀座拠点における建物の借受 面積:367.16㎡ 契約期間:令和4年2月1日～令和14年9月30日 (3) 福井県ビジネス支援センター運営業務の委託 (4) 首都圏 販路開拓・情報発信アドバイザーの雇用 首都圏における本県の物産、観光等の販路拡大や情報発信を強化するため、首都圏のメディアや経済人に幅広いネットワークを有する職員をアドバイザーに委嘱する。												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 約300社						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町と連携したフェアの開催 (H30 鯖江市、勝山市、敦賀市、池田町、越前町、坂井市) (R1 小浜市、越前町、若狭町、おおい町、高浜町) (R2 福井市、小浜市) (R3 越前市) (R5 坂井市、永平寺町、美浜町、若狭町) (R6 福井市)					他県の状況	本県を含めて36道県が首都圏においてアンテナショップを運営					

福井県ビジネス支援センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費・標準外経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 24 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務							
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	376,506			(財) (諸) 182,689	193,817	(財産運用収入)128,670千円、(諸収入)54,018千円							
[予算額の推移等]												(単位:千円)	
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		250,474	753,045	376,212	376,569	376,506	アンテナショップ運営費の見直しによる減額						
2月現計予算額の推移		250,474	848,110	376,212	376,569								
決算額の推移		235,435	332,224	375,524									
前年度までの 主な増減理由		R 1:消費税増税に伴う建物賃料および運営委託費の増加、「食の國 福井館」の家賃引き上げと契約更新に伴う諸経費 R 2:修繕費の増加 R 3:修繕費の減少 R 4:リニューアルに伴う銀座拠点の建物借受費の増加 R 5:アンテナショップのリニューアル完了により、年間通しでの運営開始に伴う委託料の増加 R 6:会計年度任用職員の給料増と勤勉手当の支給予定に伴う、首都圏販路開拓・情報発信アドバイザーへの報酬額の増加											
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	売上額(千円)	(目標)	(336,727)	(53,333)	(320,000)	(470,000)	(470,000)		運営事業者の目標数値(~R3年度) 店舗売上目標470,000千円(R6年度~) ※令和6年度の数字は1月末までの実績値				
		実績	303,006	233,873	469,153	392,304							
活動指標	来館者数(人)	(目標)	(485,000)	(88,333)	(530,000)	(530,000)	(530,000)		運営事業者の目標数値(~R3年度) 店舗来館者目標53万人(R4年度~) ※令和6年度の数字は1月末までの実績値				
		実績	289,664	126,038	456,913	438,862							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価					
南青山と銀座の両館をリニューアルオープンし、コワーキングスペースを活用した県内企業の新たなビジネス展開の誘発や、2館それぞれの役割を活かした販路拡大・商品開発支援の拡大を図った。 (参考)R7.2月末銀座売上 392,304千円 来館客数 438,862人 前年度比 109% 前年度比 125%					令和6年度は両館リニューアルから2年目で、売上目標と来館者の目標を達成する見込み。			□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	63		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

新幹線開業後の課題解決に向けた投資応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	(公財)福井産業支援センター				事務 区 分	■ 自 治 事 務 □ 法 定 受 託 事 務	事 業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[福井NEW経済ビジョン、ネクストふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線開業以降、新幹線駅や主要観光地等を中心に、売上を伸ばしている店舗がある一方で、新幹線駅等から離れた地域や、観光客のニーズをとらえきれていない店舗では、十分にお客を取り込めておらず、売上を落としている。						[問題・課題を表す客観的データ] 【取組みの方向性】 ・エリアの魅力向上など「面」での観光地づくり ・賑わい創出につながる店舗改修等の支援による観光投資意欲の増進 (ネクストふくい観光ビジョン)						
[事業目的] 県下全域に新幹線開業効果を波及させ、その効果を維持・最大化するために、売上が落ち込んでいる店舗に対して、観光客受入れにかかる課題を解決するための店舗改装・設備導入に対する投資への支援を行う。												
[事業内容] 観光客受入れにかかる課題解決に向けた投資への支援 実施主体 : 県内に本社を置く中小企業者等 補助対象事業費: 事業用建物の増改築費、設備導入費、工具・器具・備品費 補助率 : 県1/3 補助上限額 : 1,500千円 支援件数 : 10件												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 10社						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

新幹線開業後の課題解決に向けた投資応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	(公財)福井産業支援センター				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助金							■ 補助金		R7 年度 経過年数		
補助率	10/10							□ その他		1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	15,243	7,621			7,622	新しい地方経済・生活環境創生交付金						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移							15,243					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	店舗改装等による売上額伸び率						(10)			売上額対前年比10%増		
活動指標	支援事業者数						(10)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価			
									□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額
									□ 継続	□ 休止	□ 完了	
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他	

商店街等集客力向上支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	まちづくり会社等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 Ⅲ 楽しみを広げる(創造力) 〕 政策〔 10 交流を広げる基盤整備 〕				関連する県の計画等		〔 ふくいNEW経済ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業 プラン～ 〕					
[解決すべき問題・課題] 地元の商店街が魅力を向上し来客者の増加を図る取組みをしようとしても、商店街の 予算額が減少しているため事業実施に利用できる予算確保が難しいため、取組みの 実施に至らない。						[問題・課題を表す客観的データ] 中小企業庁「平成30年度商店街実態調査」 問5(1)①2 平成30年度の総事業予算額 (3年前との比較) 福井県 「減った」41.4%						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業効果の維持・拡大に向けて、増加する県内外および外国人の観光客、地域住民や高齢者の商店街等への来街を促進し、商店街等が有する公共的機能、買物機能の維持、強化を図るため、必要な整備を支援する。												
[事業内容] (1)新幹線開業効果最大化支援事業(13,000千円) 北陸新幹線福井・敦賀開業効果を最大限に高めるため、県外および外国人観光客の、来街促進と消費拡大を目的に官民連携して策定された まちづくり計画において位置づけられた事業について支援を行う。 実施主体:まちづくり会社 県補助額:13,000千円 補助率:県1/2、市町1/2(市への間接補助) 補助対象事業:PR販促グッズ、共通デザインの看板作成等												
[受益者] 商店街、事業協同組合、個店グループ、まちづくり会社						[想定される受益者数] 2団体						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域商業活性化事業 (実績) 商店街等が新たに実施する公共空間の施設整備、設備整備およびソフト事業。共同店舗が高齢者等の買物促進のために実施する施設整備、設備整備およびソフト事業。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	市町も県と同様に1/2を補助することにより県と共同して事業を実施					他県の状況						

商店街等集客力向上支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	まちづくり会社等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	13,000	6,500			6,500	新しい地方経済・生活環境創生交付金						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		16,024	17,692	9,400	22,219	13,000	商店街等活性化環境整備支援事業等の補助事業完了による減					
2月現計予算額の推移		12,861	12,219	9,400	19,783							
決算額の推移		12,595	12,099	9,095								
前年度までの 主な増減理由	各市町からの事業要望を聞いたうえで増減を決定											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	支援した商店街等の通行量の増加率 (目標)	(80)	(80)	(10.0)	(10.0)	(10.0)	(10.0)	(10.0)	R2~R4:事業計画で設定した課題の解決率(目標:80%) R5~:支援商店街等の事業実施前後の歩行者・来店者数の増加率(目標:平均10%増)			
		実績 82	82	10.0								
活動指標	環境整備等に取り組む商店街等の数 (目標)	(6)	(6)	(4)	(8)	(1)	(24)	(24)	各市町からの事業要望により設定			
		実績 6	5	8	8							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・令和5年度において、商店街等誘客やにぎわい創出に寄与する事業支援により、成果指標の通行量の増加率について、目標どおり達成した。				令和6年度をもって商店街等の活性化に関する計画を策定した商店街等の補助事業を完了した。 引き続き、新幹線開業効果を高めるために官民連携して策定されたまちづくり計画において位置づけられた事業に対する支援を行う。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	9,219	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「新福井方式」によるショッピングセンター支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦		
事業主体	県、福井県共同店舗協同組合連合会					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助、委託								<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	1/2、1/3								<input type="checkbox"/> その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 II 成長を創る(産業力) 〕 政策〔 7 未来志向型の産業革新 〕					関連する県の計画等		〔 ふくいNEW経済ビジョン 〕					
[解決すべき問題・課題] コロナ禍による生活様式の変容(ネットショッピングの増加)や物価高騰による利益減少、さらに施設の老朽化や組合方式による運営の行き詰まりなど、ショッピングセンターを取り巻く環境が悪化している。						[問題・課題を表す客観的データ] ●県内百貨店・ショッピングセンター販売額(百万円) R1:46,507、R2:39,017、R3:36,012、R4:36,940							
[事業目的] コロナ禍による生活様式の変容(ネットショッピングの増加)や物価高騰による利益減少、さらに施設の老朽化など、ショッピングセンターを取り巻く環境が悪化しているなか、地元商業者が運営する県内のショッピングセンターが今後も地域から必要とされ、県民の消費活動やコミュニティ活動を支える場所として維持・拡大を図るための支援を行う。													
[事業内容] (1)共通組織によるリーシング事業支援 ・実施主体:福井県共同店舗協同組合連合会 ・補助率:1/2、補助上限:2,000千円 (2)地元商業者活性化のためのフロアづくり支援 ・実施主体:県内中小企業者からなる組合、または県内中小企業等が運営するショッピングセンター ・補助率:1/3 ・補助上限:50,000千円 (3)研究会開催 ・実施主体:県 ・事業費:700千円(委託)													
[受益者] ショッピングセンターを運営する協同組合、県内中小事業者						[想定される受益者数] 13事業者							
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ショッピングセンターの今後のあり方についての研究会(政策トライアル事業) (実績) 専門家による研究会、先進事例の研究等により、ショッピングセンターの今後の在り方に関する方策を検証					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	「ショッピングセンターの今後のあり方についての研究会」へのショッピングセンター所在市町の参加					他県の状況							

「新福井方式」によるショッピングセンター支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦			
事業主体	県、福井県共同店舗協同組合連合会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助、委託					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	1/2、1/3					□ その他								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	12,700				12,700									
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					52,700	12,700	地元商業者活性化のためのフロアづくり支援事業内容による補助金額の減							
2月現計予算額の推移					52,700									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	新規出店テナント数 (目標)				(5)	(3)	(10)	(10)	目標:10店舗					
	実績				5									
活動指標	リニューアル実施SC (目標)				(1)	(1)	(6)	(6)	県内SCのうち6店舗					
	実績				1									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・地元商業者活性化のためのフロアづくり支援によりショッピングセンター1店舗のリニューアルを支援し、成果指標の新規出店テナント数を目標どおり達成した。				県内のショッピングセンターの今後のあり方を検討する研究会の開催により、各ショッピングセンターのフロアづくりのコンセプトの検討を促し、新たなフロアの方向性を見出したショッピングセンターから順次フロアづくりへの支援を行っていく。				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	40,000			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

商店街への新幹線開業効果波及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県内商店街、まちづくり会社等				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [Ⅲ 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業後、人流が減少している商店街等が存在し、新幹線開業の盛り上がりが全県に波及されていない						[問題・課題を表す客観的データ] 県内商店街の人流(R6/R5) ・福井市に所在する商店街 89.4% ・鯖江市に所在する商店街 79.6% ・越前市に所在する商店街 77.5%						
[事業目的] 新幹線開業の盛り上がりを直ちに全県に波及するため、市町とともに新幹線時代を踏まえた商店街等の成長計画の策定を支援するとともに、商店街等の要望に応じ、緊急対策として消費喚起支援等を実施する。												
[事業内容] ○商店街成長計画策定支援事業 商店街成長計画策定支援事業において策定した計画を県・市町で審査し、認定された事業に対して支援 事業主体 : 県内商店街、まちづくり会社等 補助上限額 : 18,000千円(2年間、県負担分 9,000千円) 補助率 : 県1/2以内、市町1/2以内(市町を通じた間接補助) 補助想定件数: 11件												
[受益者] 県内商店街						[想定される受益者数] 11商店街						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町も県と同様に補助することにより共同して事業を実施					他県の状況						

商店街への新幹線開業効果波及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県内商店街、まちづくり会社等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	1/2							<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	28,500				28,500							
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						28,500	商店街緊急消費喚起支援事業は令和6年度限りで終了したため					
2月現計予算額の推移					54,500							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	補助を行った商店街の平均 人流増加率(%)					(2)	(2)	(10)	事業終了後3~5年で平均10%増加			
活動指標	補助実施件数				(11) 11	(11)						想定件数
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
○商店街成長計画策定支援 福井市 1計画策定(対象商店街を包括した計画を策定) 鯖江市 1計画策定(対象商店街を包括した計画を策定) 越前市 1計画策定(対象商店街を包括した計画を策定) ○商店街緊急消費喚起支援 福井市 対象商店街を包括したエリアでのプレミアム付き商品券等を実施 鯖江市 対象商店街を包括したエリアでの抽選会等を実施				令和6年度策定した商店街成長計画に基づき、新幹線時代を踏まえた商店街の成長に資する事業を実施。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	26,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

インバウンドによる地域消費拡大推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	飲食店等インバウンド対応推進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 個別店舗においてインバウンド対応の費用がなく、インバウンド対策が進んでいない。						[問題・課題を表す客観的データ] 年間予算における支出割合 インバウンド関連費:0.4% (中小企業庁「令和3年度商店街実態調査」(最新))						
[事業目的] インバウンド向けWEBサイトにより個々の飲食店では対応が難しい商品・サービスの多言語化等を進め、北陸新幹線福井・敦賀開業効果の拡大、大阪万博の開催や新型コロナウイルス感染症からの回復を見据えた外国人観光客等による地域での消費拡大を図る。												
[事業内容] (1)WEBサイトの維持・継続 サイトの安定稼働、旬な情報の随時掲載等により満足度の向上を図る (2)参加店舗の拡大 観光客が来そうな飲食店等を中心に登録数を増やし、できるだけ多くの店舗でインバウンド体制を整え、外国人観光客による消費拡大を促す (3)プロモーションの強化 鉄道やバス、空港などの外国人観光客が利用する場所等で広報を実施												
[受益者] 個別店舗、外国人観光客						[想定される受益者数] 約40万人(県のインバウンド目標値)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	参加市と協力し、店舗追加を実施				他県の状況							

インバウンドによる地域消費拡大推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	飲食店等インバウンド対応推進協議会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	負担金								経過年数	6 年		
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,148	3,574			3,574	新しい地方経済・生活環境創生交付金						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	22,575	6,390	9,000	8,198	7,148	広報費用等事業費の見直しのため						
2月現計予算額の推移	10,080	6,390	9,000	8,198								
決算額の推移	8,958	4,193	9,000									
前年度までの主な増減理由	令和3～4年度:アプリの運営費用の減(新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に追加登録を中止) 令和5年度:アプリの機能見直し・改修等に係る増											
[成果指標等の推移]												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	アプリ(サイト)参加店舗 (目標) (200) 実績 140	(200) 150	(270) 210	(270) 264	(270)	(270)	(360)	1市町あたり30店舗の参加および福井市店舗の移行				
活動指標	アプリ(サイト)参加市町 (目標) (2) 実績 1	(2) 1	(4) 4	(5) 5	(5)	(5)	(7)	北陸新幹線駅立地市町および沿線市町の参加				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
令和6年度は小浜市が参加し、小浜市内の飲食店約48店舗がサイトへ登録を行った。小浜市観光サイトに掲載されている飲食店数が約45店舗であり、十分目標を達成できたと評価している。				観光部門における外国人向け誘客イベント等の実施強化による、インバウンド入込数の増加を見込み、広報を切れ目なく行っていく				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,050	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

官民連携による「県都まちなか再生ファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県都まちなか再生ファンド運営委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 Ⅲ 楽しみを広げる(創造力) 〕 政策〔 10 交流を広げる基盤整備 〕				関連する県の計画等		〔 ふくいNEW経済ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業 プラン 〕					
【解決すべき問題・課題】 西武福井新館の閉店や老朽化した空きビルの増加、再開発事業に伴う来街者の減少など、県都福井の中心市街地の活力低下。						【問題・課題を表す客観的データ】 ・中央1丁目の空き店舗数(R3年8月) 29店舗(10.5%) ・1か月間の駅前への来街回数(R1年5月) 0回37.7%、1回22.2%、2回23.4%、3回以上16.6% (まちづくり福井による定期調査)						
【事業目的】 県・福井市・福井商工会議所が参画する「県都にぎわい創生協議会」において、福井駅周辺のまちづくりのランドデザインが策定され、福井駅周辺のテナント・マネジメントを強化し、空きビル対策やリノベーション推進、街並みの向上を図るなど、北陸新幹線福井開業に向けた受入態勢づくりを進めていく。												
【事業内容】 北陸新幹線福井・敦賀開業効果の維持・拡大に向けて福井県の玄関口である福井駅中心市街地を魅力あるものにし、県外観光客が何度も訪れたいまちにするため、造成した「県都まちなか再生ファンド」を活用し、外観のリノベーションや、「県都ランドデザイン」の目的に合った店舗を誘致するために必要な支援を行う。 (基金の概要) ・基金総額 24億円(県12億円、福井市12億円) ※基金は取崩型とし、別途、金融機関が事業者へ協調して融資 ・基金設置 県都まちなか再生ファンド運営委員会(県、市、学識経験者、金融機関等で構成、負担金として支出) ・支援対象 「県都ランドデザイン」に基づき、福井市中央1丁目および3丁目等の店舗所有者等が実施する商業ビル等の改修・高度利用の推進、民間再開発の実施、店舗のリノベーションなど												
【受益者】 福井駅周辺への出店事業者						【想定される受益者数】 15事業者(R7支援事業者数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	福井市が同額を負担				他県の状況							

官民連携による「県都まちなか再生ファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県都まちなか再生ファンド運営委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	250,000	37,570		繰入 212,430	0	新しい地方経済・生活環境創生交付金 繰入金(地域振興基金)						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		1,350,000	290,000	290,000	250,000	「県都まちなか再生ファンド」造成時に策定した計画による減額						
2月現計予算額の推移		1,235,500	64,131	156,034								
決算額の推移		1,220,264	64,000									
前年度までの 主な増減理由	令和4年度において、「県都まちなか再生ファンド」を造成した、令和5年度以降は「県都まちなか再生ファンド」の取崩による事業実施											
[成果指標等の推移]												
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	改修等支援件数	(目標) 実績	(8) 10	(15) 12	(15) 16	(15) (53)	(68)	新幹線開業効果の最大化のため、前年実績を超える件数を目標とする				
活動指標	改修等相談・営業件数	(目標) 実績	(20) 95	(30) 118	(30) 120	(110)	(140)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
店舗のリノベーション支援 9件 洗練された店舗等支援 1件 新栄商店街ミニ再開発支援 2件 改修等にかかる相談件数は非常に多く、事業者からの関心は令和4年度から引き続き高い状況にある。				引き続き、福井駅周辺への店舗出店や既存店舗のリノベーションを検討する事業者に対し、「県都まちなか再生ファンド」の活用を促し、支援を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	40,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

官民連携による「敦賀市まちづくりファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦		
事業主体	敦賀市まちづくりファンド運営委員会					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	-												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 Ⅲ 楽しみを広げる(創造力) 〕 政策〔 10 交流を広げる基盤整備 〕					関連する県の計画等		〔 ふくいNEW経済ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン 〕					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市中心部を賑わいのあるものとし、観光客を呼び込む核となるエリアを早急に整備する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 観光客入込数(敦賀市) R元:3,694千人 R2:2,087千人 R3:2,178千人 R4:2,605千人 (出典:福井県観光客入込数)							
[事業目的] 県・敦賀市・敦賀商工会議所が参画する「金ヶ崎周辺魅力づくり協議会」において、敦賀市中心市街地のまちづくりのデザイン計画策定を進めており、その中間報告に基づき、敦賀市中心市街地のテナント・マネジメントを強化し、空きビル対策やリノベーション推進、街並みの向上を図るなど、北陸新幹線福井開業に向けた受入態勢づくりを進めていく。													
[事業内容] 北陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市中心部を賑わいのあるものとし、観光客を呼び込む核となるエリアのビルの改修や景観整備、リノベーションを進めるため、県・市でそれぞれ積み立てた基金で支援を行う。 (基金の概要) 基金総額 9億円(県4億円、敦賀市5億円) ※地域振興基金に積み立て、敦賀商工会議所に負担金として支出 (支援対象) 敦賀市の観光の中核となる敦賀駅前エリア、気比神宮エリア、敦賀港周辺エリアを連結する5つの商店街(駅前商店街、本町1・2丁目商店街、神楽町商店街、相生町・博物館通り商店街)の店舗所有者等が実施する商業ビル等の改修・高度利用の推進、景観整備、店舗のリノベーションなど													
[受益者] 敦賀市中心部への出店事業者						[想定される受益者数] 8事業者(R7支援事業者数)							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	敦賀市が県と同額分を負担					他県の状況							

官民連携による「敦賀市まちづくりファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦		
事業主体	敦賀市まちづくりファンド運営委員会					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	70,000	35,000		繰入 35,000	0	新しい地方経済・生活環境創生交付金 繰入金(地域振興基金)							
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			420,000	120,000	120,000	70,000	「敦賀市まちづくりファンド」造成時に策定した計画による減額						
2月現計予算額の推移			420,000	81,968	47,410								
決算額の推移			410,098	79,217									
前年度までの 主な増減理由	令和4年度に「敦賀市まちづくりファンド」を造成、令和5年度以降は「敦賀市まちづくりファンド」の取崩による事業実施												
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	改修等支援件数	(目標)	(5)	(8)	(8)	(8)	(21)	(33)	敦賀市中心市街地の営業店舗と空き店舗の合計数282件(R4.11時点)のうち、10%以上の改修等を実施				
		実績	5	27	20								
活動指標	改修等相談件数	(目標)	(10)	(16)	(16)	(16)	(42)	(74)	支援件数の2倍程度				
		実績	50	50	47								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
改修等にかかる相談件数は非常に多く、事業者からの関心が高いことから、成果指標の改修等支援件数の目標を大きく超え達成した。				補助実績の周知などの広報を強化し、「敦賀市まちづくりファンド」のさらなる活用を進める。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	50,000		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

福井駅周辺商業エリアにおける観光消費拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託							□ 補助金				
補助率	—							□ その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [Ⅲ 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 県内商品・サービスの販売強化による新幹線開業効果の波及・拡大						[問題・課題を表す客観的データ] R元年 都道府県別 旅行消費単価(万円/人) 消費単価2.1(26位/47都道府県) 石川県:2.8(6位)富山県:1.9(33位) 出典:観光庁『旅行・観光消費動向調査 R元(2019年)1~12月期』						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業効果を全県的に波及させるために、県内最大の乗降客数となる福井駅周辺において、観光客が駅周辺で購入することができない「押し」のグルメ、酒、工芸を展示・販売し、県内商業者の売上を増加させる。また、インバウンド富裕層向けに伝統工芸品等を展示するスペースを設置し、観光消費額拡大を図る。												
[事業内容] (1)観光消費拡大イベントの開催 ・県、各市町による季節にあわせた「押し」グルメ等の販売会を西武福井店にて開催(駅周辺で購入できない奥越、嶺南の商品など) ・物販のほか、飲食ブースを設置し県内の人気飲食店のグルメや福井の食材を使った料理を提供 (2)インバウンド富裕層に訴求できる工芸品など高額商品の展示販売 ・インバウンドが多い時期に富裕層向け商品を展示販売することができる場所を駅周辺に設置												
[受益者] 小売・サービス業事業者、福井駅周辺の商店等						[想定される受益者数] 約140事業者						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ダイノデパートin西武福井・“ふくいのとっておき”フードフェア (実績) 『ダイノデパートin西武福井』(R3~R5)を開催 ・期間中の西武来店者数 前年同期比158%(R3) 前年同期98%(R4) ・開催期間中の西武売上 前年同期比116%(R3) 前年同期94%(R4) 『“ふくいのとっておき”フードフェア』(H22~R5)を開催 ・過去3年間の年平均の実績(R2~R4) 売上額:19,716千円 客数:49,351人 出展事業者数:19事業者					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

福井駅周辺商業エリアにおける観光消費拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	20,474	10,237			10,237	新しい地方経済・生活環境創生交付金						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						40,453	20,474	観光消費拡大イベントの開催回数を4回→2回に変更				
2月現計予算額の推移						40,453						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	展示・販売会売上(千円)	(目標) 実績				(92,400) 98,295	(46,200)	(46,200)	(46,200)	『”ふくいのとっておき”フードフェア』過去3年間の実績(3,300千円/日平均)×28日間(令和5年度)、×14日間(令和6年度～))		
活動指標	出店社数	(目標) 実績				(39) 32	(39)	(39)	(39)	『”ふくいのとっておき”フードフェア』過去3年間の実績平均		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価			
成果指標については達成することができたものの、活動指標については4回に分けて開催することにより、出店事業者が分散してしまい、活動指標が未達成となった。						令和6年度までの4回開催では、出店事業者が分散してしまうため、令和7年度以降については回数を減らし、1回のイベントに多くの事業者が集う、活気のある観光消費拡大イベントとする。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	19,979
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

県都まちなかにおけるイノベーション創出推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦			
事業主体	公益財団法人 ふくい産業支援センター、一般社団法人 福井県クリエイター協会					事務 区 分	■ 自 治 事 務 □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	補助								<input checked="" type="checkbox"/> 補助金					<input type="checkbox"/> その他
補助率	10/10、2/3								<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 II 成長を創る(産業力) 〕 政策〔 6 創業・新事業展開の促進 〕					関連する県の計画等		〔 県都グランドデザイン 〕						
[解決すべき問題・課題] デザイン・クリエイティブ人材の確保とデザインの価値創出						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸三県でデザイン業の従業者数を比較すると、石川・富山の半数以下								
[事業目的] デザイナーをはじめとするクリエイター、事業者、県民が気軽に交流し、デザインに触れてもらえる拠点をまちなかに設けることにより、人材の育成や掘り起しを行い、多様な社会のニーズに対応できるデザイン・クリエイティブ人材を確保するとともに、デザインの価値創出を促進する。														
[事業内容] (1) <input checked="" type="checkbox"/> ザイン・クリエイティブ振興拠点の開設 ・県内クリエイターが気軽に集まり交流できる拠点をまちなか(福井駅周辺)に開設し、クリエイター間でのワークシェアリングや若手クリエイターの育成を推進するとともに、デザインに関する相談窓口を設ける(コーディネーターを配置) ・従来のデザイナーバンクをリニューアルし、クリエイター間での情報共有、意見交換や人材掘り起こし機能を強化する (2) <input checked="" type="checkbox"/> リエイティブ人材育成やデザイン啓発のためのイベント開催 ・まちなかを拠点に「一般社団法人 福井県クリエイター協会」と協働してクリエイターのためのセミナーや交流会を開催 ・子どもやデザインに興味のある県民等、幅広い世代がデザインに親しむことができるイベントを開催 実施主体:(1)公益財団法人 ふくい産業支援センター、(2)一般社団法人 福井県クリエイター協会														
[受益者] 県内のクリエイター等およびデザインを活用する事業者・県民						[想定される受益者数] 県内のクリエイター等約200名								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県都まちなかにおけるイノベーション創出推進事業 (経営改革課) (役割分担) ・福井駅周辺におけるインキュベーション施設の整備支援 ・県企業支援チームがインキュベーション施設に入居し、イノベーション促進等の県内企業の支援を実施(県企業支援チームとクリエイターが協働し、デザイン支援を実施)						
市町との連携状況						他県の状況								

県都まちなかにおけるイノベーション創出推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	公益財団法人 ふくい産業支援センター、一般社団法人 福井県クリエイター協会				事務区分	■ 自治事務		課名	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度	
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務						□ 実行予算
補助率	10/10、2/3											■ 補助金 □ その他
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	15,142				15,142							
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				0	15,142	福井県クリエイター協会への補助率見直しによる減						
2月現計予算額の推移			17,708	17,708								
決算額の推移			0									
前年度までの 主な増減理由	令和5年度:国経済対策の活用による前倒しのため2月補正予算において計上											
[成果指標等の推移]												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	振興拠点の利用者数 (目標)			(500)	(1,000)	(1,000)	(2,000)	セミナー1回、企画展年1回				
	実績			480								
活動指標	イベントの開催件数 (目標)			(9)	(12)	(12)	(12)	セミナー1回、企画展年1回				
	実績			10								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・イベント・交流会等の開催 8回(8月~3月) ・開設記念イベントの開催 1回(11月) ・デザイン啓発イベントの開催 1回(1月) イベント・交流会は拠点開設前から始動し、活動指標は目標を上回ったが、建物の完成の遅れにより拠点の開設時期もずれ込んだため、拠点の利用者数が目標を下回った。				・拠点開設にかかる費用の減 ・窓口業務の期間が1年間になったことによる費用の増				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	2,566	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

越前ものづくりの里プロジェクト

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦				
事業主体	越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会、鯖江市、越前市、越前町、小浜市					事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金、補助														
補助率	県1/2、市町1/2														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 II 成長を創る(産業力) 〕 政策〔 7 未来志向型の産業革新 〕					関連する県の計画等		〔 ふくいNEW経済ビジョン 〕							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸産業の生産額・従事者の減少 ・丹南5産地が連携した販路開拓や産業観光の推進 						<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品7産地 生産額:23,792百万円(H7)→16,699百万円(R5) 従事者:2,741人(H7)→1,508人(R5) 									
[事業目的]															
伝統工芸産地(越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前筆筒)が丹南地域に集積している本県の特徴を活かし、現場の意見を取り入れた、「攻め」の後継者育成、魅力発信を行うことにより、伝統工芸の新たな価値を高める。															
[事業内容]															
(1)伝統工芸職人塾 工芸分野に携わりたい若者等が、技能に加え、魅力ある商品づくり、デザインや経営的な視点を学べる「職人塾」を開設 (2)創業支援事業 伝統的工芸品の製造に従事する者が創業する際に必要な経費を一部支援 (3)伝統工芸人材育成事業 伝統工芸職人塾を卒業した職人や中堅職人のモチベーションを向上するため、産地活性化のノウハウを習得できるセミナーやコンペティションを開催 (4)伝統工芸産地連携事業 丹南5産地が連携して、意欲的な産地組合や現場の若手職人・クリエイター等が協働で販路開拓や産業観光のための取り組みを実施し、産地全体の魅力・地域ブランド力を高める ・首都圏や新幹線沿線周辺地域等でのPRイベント開催 ・県内の産業観光イベントでの運営支援 等 (5)伝統工芸販路開拓事業 伝統工芸のブランド力向上に向けた1つのポイントとして食と結び付けた販路開拓を行う。県内の飲食店で伝統工芸品を導入し、産地振興に賛同する事業者を後押しするため、購入のための補助金を設ける ・実施主体:県内飲食店 ・対象経費:飲食店で使用する伝統工芸品の購入費 ・補助率:県1/3、市町1/3															
[受益者] 丹南の5伝統工芸産地						[想定される受益者数] 約1,600人(丹南の伝統工芸従事者)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	運営委員会は県、市町、産地組合、商工団体が構成している。事業費用は県と市町で折半している。					他県の状況	○各地の伝統工芸後継者育成事業 ・静岡市[クラフトマンサポート事業]月10万円 最長2年間支援 ・東京都荒川区[荒川の匠育成事業]月14万円 最長6年間支援 ・鳥取県[ふるさと産業支援事業]月17万円 最長2年間支援 (経費は県と市町村が折半)								

越前ものづくりの里プロジェクト

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦		
事業主体	越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会、鯖江市、越前市、越前町、小浜市				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金、補助												
補助率	県1/2、市町1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	33,598					33,598							
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		33,594	34,994	36,489	34,298	33,598	伝統工芸職人塾および創業支援事業の採択枠の見直しによる減 伝統工芸販路開拓事業の新設による増						
2月現計予算額の推移		24,342	31,000	23,413	21,767								
決算額の推移		23,566	28,317	23,407									
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 産地連携事業の充実による増 ・令和4年度 創業支援事業の追加による増 ・令和5年度 伝統工芸人材育成事業の新設による増 ・令和6年度 産地連携事業費の見直しによる減額 											
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	伝統工芸職人塾 就業者数(人)	(目標)	(40)	(45)	(50)	(55)	(60)	(55)	(55)	地域再生計画に基づく目標値			
		実績	42	52	64	73							
活動指標	伝統工芸職人塾 長期塾生数(人)	(目標)	(120)	(140)	(150)	(160)	(170)	(160)	(200)	毎年10名程度採用(延べ人数、累計)			
		実績	132	152	169	184							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・令和6年度の伝統工芸職人塾長期塾生数は15名(累計184名)で目標を超えて塾生を受入れており、職人塾修了生は9割以上がそのまま産地で就業していることから、就業者数の目標も上回っている。				これまでの採択実績にもとづき、伝統工芸職人塾(長期)および創業支援事業の採択枠を減 販路開拓を強化するため、新たな支援事業を創設				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

産業観光ビジネス支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る(産業力)] 政策 [7 未来志向型の産業革新]				関連する県の計画等	[ふくいNEW経済ビジョン]						
[解決すべき問題・課題] 観光客を呼び込む産業観光のビジネス化と賑わい創出						[問題・課題を表す客観的データ] ・産業観光施設の集客数40万人→37万人(5年度)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた産業観光ビジネスモデル構築のため、デザイナー等の専門家の監修による見学・体験メニュー等の開発に挑戦する企業を支援する。												
[事業内容] 1 体験メニュー開発等に取り組む伝統工芸関連企業への支援 事業内容 : 企業の工場見学や体験メニュー開発等の経費を助成 (1)スポット店舗 デザイナー等の専門家の監修による見学・体験メニュー等の開発、情報発信 (2)HUB拠点 上記に加え、営業・PR等に対応するスタッフの配置等 補助対象 : 伝統工芸、眼鏡等県内ものづくり企業や県内企業集団 産地組合等 補助率 : 2/3 補助上限額:(1)スポット店舗 3,000千円/件 (2)HUB拠点 5,000千円/件												
[受益者] 伝統工芸関連企業						[想定される受益者数] 5社						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町民や県外訪問者等に対する事業PR ・市町や伝統工芸組合が参加する協議会において関連事業を実施					他県の状況	—					

産業観光ビジネス支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県2/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	17,073				17,073							
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	15,379	20,379	17,073	17,073	17,073	-						
2月現計予算額の推移	3,136	20,379	15,998	16,000								
決算額の推移	2,922	16,586	14,977									
前年度までの 主な増減理由	令和5年度:スポット店舗の補助件数5件から4件に減											
[成果指標等の推移]												
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	伝統工芸産地の入込数(延べ)	(40)	(40)	(40)	(45)	(50)			目標(福井NEW経済ビジョン) 50万人(2027年)			
	実績	29	40	38								
活動指標	支援件数(件)	(5)	(6)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	スポット店舗4か所、HUB拠点1か所			
	実績	3	5	5	4							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・6年度の採択件数 スポット店舗2件 HUB拠点2件となった。 支援件数は減少したが、産地の周遊につながるHUB拠点の件数が増加したため、今後の産地での滞在時間や集客数の増加に期待できる。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

伝統工芸産地コーディネート推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る(産業力)] 政策 [7 未来志向型の産業革新]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
伝統工芸産地の生産額の減少とそれに伴う事業所数、従業員数の減少による産地全体の冷え込み						平成7年 237.9億円 → 令和5年 166.9億円						
[事業目的]												
新幹線開業に合わせ、伝統工芸産地の産業観光を通年型のコンテンツとして展開できるよう、産地をまたいだ大規模な仕掛けづくりを民間事業者とともに実施する。												
[事業内容]												
(1)産業観光受入体制づくり 産業観光専門ガイドや販売員など外部人材の育成・活用 観光客のニーズに合った体験メニューを創設するため、産業観光に詳しい立場からの内容の提案 モニターツアーの実施による内容のブラッシュアップ (2)体験メニューや産業観光のプランの発信 個社の取組をまとめた一元的な情報源を構築 産地間を周遊するツアーを醸成し、観光客にとって魅力的なプランを提示												
[受益者] 県内の各伝統工芸産地						[想定される受益者数] 7産地						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

伝統工芸産地コーディネート推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦		
事業主体		事業者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法		委託											
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	16,390				16,390								
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				19,206	16,390	16,390	-						
2月現計予算額の推移				17,750	16,390								
決算額の推移				17,718									
前年度までの 主な増減理由		令和6年度 伝統工芸パンフレット改訂完了のため減額											
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	伝統工芸産地の入込数(延べ)	(目標)		(40)	(45)	(50)			目標(福井NEW経済ビジョン) 50万人(2027年)				
		実績		38									
活動指標	産業観光コンテンツ数(累計)	(目標)		(4)	(8)	(12)			新規に創設・発信するコンテンツ数4件				
		実績		4	8								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
伝統工芸産地での工房見学や制作体験等の観光コンテンツを新たに4件造成するとともに、首都圏の旅行会社を対象にしたモニターツアーも4回実施し、産地への送客を促した。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

伝統工芸品販売ブーストアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県3/4											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る(産業力)] 政策 [7 未来志向型の産業革新]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
伝統工芸産地の売上向上						7産地の生産額の合算が10年前と比べて15%減						
[事業目的]												
首都圏等での展示会や個展等による県内伝統工芸品の売り込みを行い販路開拓、産業観光に繋げる。また、リニューアルしたふくい食の国291や南青山のコワーキングスペースを首都圏での販路開拓の拠点として活用する。												
[事業内容]												
展示会・個展・販売会の開催支援 ・伝統工芸に関わる個人作家などが福井駅前、軽井沢等の各新幹線駅前、関西圏、観光地、食の国291や南青山のコワーキングスペースなどで 展示会、個展、販売会等を開催する際の経費を補助する 補助対象 県内伝統工芸の企画・製造事業者 補助率 3/4 補助上限額 500千円												
[受益者] 伝統工芸企画・製造事業者・個人作家						[想定される受益者数] 20事業者						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

伝統工芸品販売ブースアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦			
事業主体	事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											R5 年度		
補助率	県3/4											経過年数 3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	10,000				10,000									
[予算額の推移等] (単位:千円)														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				10,000	10,000	10,000								
2月現計予算額の推移				7,500	10,000									
決算額の推移				6,122										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	支援事業者の売上上昇数 (社)			(20) 実績 10	(20)	(20)	(20)	(60)	支援事業者の前年度比の売上上昇数					
活動指標	支援件数(件)			(20) 実績 23	(20) 29	(20)	(20)	(60)	20社支援					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
令和6年度支援件数 29件 補助事業実施事業者を随時受付することで、活動指標の支援件数を目標どおり達成				北陸新幹線福井・敦賀開業により、伝統工芸作家や事業者の展示会への出展機会の増加が見込まれるなかで、本事業による出展支援を実施していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくいの伝統工芸産地魅せる化実現事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営									経過年数		
補助率	—									1 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 II 成長を創る(産業力) 〕 政策〔 7 未来志向型の産業革新 〕				関連する県の計画等		〔 ふくいNEW経済ビジョン 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸産業の生産額・従事者の減少 ・県内の伝統工芸産地が連携した販路開拓や産業観光の推進 						<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品7産地 生産額:23,792百万円(H7)→16,699百万円(R5) 従事者:2,741人(H7)→1,508人(R5) 						
[事業目的]												
<p>本県が誇る伝統工芸産地の職人が一堂に会し、誰もが気軽に伝統工芸に触れることができるイベントの開催と産地ごとに異なる課題や社会のニーズに対応した新たなプロモーションにより、県民一人ひとりが伝統工芸産地の魅力について再発見し国内外への発信力を高め、さらなる産業振興および誘客促進を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>産地集結「伝統工芸フェス」開催 県内の伝統工芸産地が集結し、職人による実演や伝統工芸品の展示販売等を行う伝統工芸イベントを合同で開催し、県民の関心や理解を高めるとともに、産業観光イベントとして県外への発信を強化する。 ※令和7年度については、文化庁主催「日本の技フェア」および県生涯学習・文化財課主催「魅力発見！福井の文化財展(仮称)」と同時開催</p>												
[受益者] 県内の伝統工芸産地						[想定される受益者数] 7産地						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都荒川区「あらかわの伝統技術展」(荒川の匠育成事業) ・京都府「京の名工展」 ・金沢市「KOGEIフェスタ」 					

ふくいの伝統工芸産地魅せる化実現事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,727				1,727									
[予算額の推移等] (単位:千円)														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移							1,727							
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	伝統工芸産地の入込数(延べ)(万人)	(目標) 実績					(50)	(50)	(50)	目標(ふくいNEW経済ビジョン) 50万人(2027年)				
活動指標	伝統工芸フェス来場者数(人)	(目標) 実績					(2,500)	(2,500)	(2,500)	文化庁「日本の技フェア」と同数				
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

越前焼・越前陶芸村魅力向上プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [II 成長を創る(産業力)]	政策 [7 未来志向型の産業革新]			関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
・越前焼や陶芸村の知名度の低さ、産業としての脆弱性 ・越前焼生産額や陶芸村入込数の減少						生産額:5億円(H3)→2億円(R5) 入込数:35万人(H7)→5万人(R5)						
[事業目的]												
越前焼の振興と陶芸村の在り方について検討委員会でプロジェクトを策定し、包括的な取組みを実施する												
[事業内容]												
越前焼の振興および越前陶芸村の活用等に関する検討委員会の開催 ① 産業振興・産業観光といった幅広い視点で有識者や事業者と議論を展開 産業振興:ブランド力向上のため、事業者の越前焼陶芸家としての意識の共有策とともにアート作品の拡大や伝統的越前焼の明確化 伝統技術の保存・アピール方法等を検討 :陶芸館の活用、研究コーディネータや研究員拡充の必要性等の検討 産業観光:町施設との連携、アーティスト滞在の促進、既存アートの活用策等の検討 ② 陶芸村全体の現状・課題の把握や活用についての検討に必要な専門的調査の実施 現況調査:陶芸村内の人の流れ、地域における役割、産業へどのように寄与しているか、越前焼の魅力が伝わっているか等の検証 敷地分析:陶芸村の外(県内伝統工芸産地、観光地等)からの人の流れ、来場者の目的等の整理												
[受益者] 県内窯元/陶芸村来場者						[想定される受益者数] 50000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

越前焼・越前陶芸村魅力向上プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	17,632	8,816			8,816	新しい地方経済・生活環境創生交付金								
[予算額の推移等] (単位:千円)														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移							17,632							
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	基本構想策定	(目標) 実績					(1)	(1)	(1)					
活動指標	検討委員会開催回数	(目標) 実績					(4)	(4)	(4)					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価				
										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

住宅への伝産品利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦				
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度			
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	瓦・和紙ともに1,000円/㎡(上限100千円)														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 II 成長を創る(産業力) 〕 政策〔 7 未来志向型の産業革新 〕				関連する県の計画等		〔 ふくいNEW経済ビジョン 〕								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
生活様式の変化に伴う越前瓦、越前和紙の需要減						・越前瓦出荷額 1,950百万円(H19)→210百万円(R5) ・越前和紙生産額 4,200百万円(H19)→1,983百万円(R5)									
[事業目的]															
住宅の新築時や、リフォーム時に越前瓦や越前和紙を使用する場合に、導入経費の一部を助成し、低迷している福井固有の地場製品の需要の拡大を図る。															
[事業内容]															
「越前瓦」・「越前和紙」の需要拡大支援 ①新築・リフォーム時の越前瓦・越前和紙の使用支援(3,500千円) 県産材活用課が実施している「県産材を活用したふくいの住まい支援事業」の対象者が、 屋根材に越前瓦を、襖紙や壁紙に越前和紙を使用する場合、導入経費の一部を助成(上限各10万円) ③確認業務委託(15千円) 施工現場確認等の業務を福井県建築組合連合会・福井県木材組合連合会に委託															
[受益者] 県産材を活用した新築・リフォームに際し、越前瓦、越前和紙を導入した施主						[想定される受益者数] 50名(越前瓦、越前和紙の導入支援を受けた県民の人数)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名				関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県産材を活用したふくいの住まい支援事業 (役割分担) 県産材を活用した新築・リフォーム時に対し、その敷地面積に応じて補助金を支給。 さらに屋根材として越前瓦、和室などに越前和紙を使用する場合には、当事業において上乘せ補助を実施。									
市町との連携状況	—				他県の状況	住宅の屋根に瓦を使用する場合の助成制度は一部見られるが、住宅の壁紙等に和紙を使用する場合の助成制度なし。									

住宅への伝産品利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	瓦・和紙ともに1,000円/㎡(上限100千円)											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,515				3,515							
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		8,245	6,235	5,777	5,777	3,515	補助金の実績減に伴い、補助想定件数の減					
2月現計予算額の推移		4,596	3,250	3,616	3,777							
決算額の推移		3,369	3,088	3,150								
前年度までの 主な増減理由	・令和4～6年度の実績減に伴い、補助金額の減											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	生産額	(目標) 3,000	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	越前瓦、越前和紙の生産額の合計(単位百万円)			
		実績 2,087	2,099	2,193								
活動指標	補助件数	(目標) (60)	(60)	(60)	(56)	(35)	(35)	(35)	令和6年度:越前瓦28件、越前和紙28件 計56件 令和7年度:越前瓦20件、越前和紙15件			
		実績 42	40	40								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
越前瓦19件、越前和紙21件 計40件 利用件数減により、目標に達成しなかった。				越前瓦、越前和紙ともに実績を踏まえ、補助想定件数を縮減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,262	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

国内外に向けた伝統工芸産地の発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課		課長名	田中 睦
事業主体		実行委員会等			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [II 成長を創る(産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]				
[解決すべき問題・課題] デザイン・クリエイティブ人材の確保とデザインの価値創出						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸三県でデザイン業の従業者数を比較すると、石川・富山の半数以下						
[事業目的] 伝統工芸産地において開催が予定されている国際会議やサミットに併せて、開催市町や産地が連携して実施するおもてなし交流イベントを支援し、本県の伝統的工芸産業の国内外に向けたPRと誘客促進を図る。												
[事業内容] 県内での開催が決定している国際会議等に併せて、開催地域が主体となって実施する交流イベントに対し費用を一部負担												
【開催地】 <input checked="" type="checkbox"/> 越前市 <input checked="" type="checkbox"/> 鯖江市 【メイン行事名】 <input checked="" type="checkbox"/> 越前市 第5回国際木版画会議(R6.4月) <input checked="" type="checkbox"/> 鯖江市 第27回ジャパン漆サミット(R6.10月) 【交流イベント等】越前和紙を含めた丹南に集積する5つの伝統工産地のエクスカージョンやサテライト展示を実施 県内の伝統工芸産地を紹介する展示・越前漆器産地の案内看板設置												
[受益者] 丹南地域の伝統工芸産地						[想定される受益者数] 5産地						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名			関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況					他県の状況							

国内外に向けた伝統工芸産地の発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	実行委員会等				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						4,000						
2月現計予算額の推移						4,000						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	交流イベント参加者数	(目標) 実績				(3,000) 2,488		(3,000)	(3,000)			
活動指標	交流イベントの開催件数	(目標) 実績				(2) 2		(2)	(2)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
国際木版画会議(4月 越前市開催) 1,728人 ジャパン漆サミット(10月 鯖江市開催) 760人 参加数については目標を下回ったものの、2市での国際会議、サミットの開催に併せて、周辺地域も含む伝統工芸産地のエクスカージョンや市民交流イベント等を開催し、国内外の来場者に福井の伝統工芸や文化のPRを行った。				次年度以降、市町が主体となって開催する大規模な伝統工芸関係のイベントの予定はないため、6年度限りで終了				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	4,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

越前焼魅力発信強化事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ネクストふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線開業を契機に、来県する観光客に対する越前焼の魅力発信を強化し、全国の注目を集めながら将来のリピーターを増加させる必要がある。						陶芸館来館者が新型コロナウイルスの影響により横ばいとなっている。 R元:約45千人→R2:約45千人						
[事業目的]												
令和5年度末の北陸新幹線金沢―敦賀間開業を見据え、鉄道関連のやきもの(汽車土瓶・駅そば皿)に焦点を当てた特別展やその関連イベントを開催することで、県内外から訪れる工芸好きの人々に加え、鉄道ファンといったこれまで陶芸館に訪れたことがない人々への集客につなげる。												
[事業内容]												
・特別展 令和6年3月～6月 「鉄道の旅を彩った焼物―汽車土瓶とそば皿―」 (関連行事)記念講演会「福井の駅そばと駅弁」川野 真理子氏(元鉄道博物館学芸員) 「そば皿と汽車土瓶」畑中英二教授(京都市立芸術大学) 越前焼の汽車土瓶復刻プロジェクト ほか												
[受益者] 陶芸館来館者						[想定される受益者数] 50,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

越前焼魅力発信強化事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務							
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額					0								
[予算額の推移等]												(単位:千円)	
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				12,103	3,292								
2月現計予算額の推移				12,103	2,199								
決算額の推移				11,183									
前年度までの 主な増減理由	令和6年度は主に特別展「鉄道の旅を彩った焼物—汽車土瓶とそば皿—」の関連イベントおよび展示場復旧にかかる費用を計上												
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	陶芸館来館者数	(目標)		(50,000)	(55,000)				前年度比10%増				
		実績		46,000									
活動指標	特別展開催数	(目標)		(1)	(1)								
		実績		1	1								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
来場者数 46,000人 令和5年度は「魅せる、伝統工芸」と題して北陸新幹線などの沿線地域の工芸品を展示。新幹線開業をはさみ、令和6年度の「鉄道の旅を彩ったやきもの—そば皿と汽車土瓶—」の展示へと橋渡す展示内容となった。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,292		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

被災商店街復興にぎわい創出事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体		商店街等組織			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		補助										
補助率		10/10										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
能登半島地震の影響による商店街機能の衰退						県内商店街等組織において、売上・歩行者通行量が減少						
[事業目的]												
令和6年能登半島地震の影響を受けた商店街等を対象に、商店街等のにぎわいを取り戻すための事業にかかる費用を支援することにより、商店街等の早期復興を目指す。												
[事業内容]												
<p>県内の被災地域の商店街等組織が単独もしくは複数で、または民間事業者と連携して実施する、にぎわい創出のための事業の経費の全部または一部を補助することにより、商店街等の復興を促進し、地域の商機能・コミュニティ機能の回復を支援</p> <p>・補助対象者: 令和6年能登半島地震の影響を受けた商店街等組織 ・対象事業 : 商店街等のにぎわいを取り戻すための事業 ・補助率 : (1)直接的被害※のある商店街等: 定額補助(国10/10) ※商店街等組織又は商店街等区域内の個店が被災したことを証する書類(罹災証明書等)の提出が必要(取得が困難な場合、写真等での代替も可能)</p> <p>(2)(1)以外の商店街等: 2/3(国10/10) ・補助上限額: 1,000千円(下限300千円) ・補助対象経費: 謝金、旅費、会議費、借料、設営費、広報費、印刷費、通信運搬費、備品費、消耗品費、委託費、外注費、雑役務費等</p>												
[受益者] 県内商店街等組織						[想定される受益者数] 10事業者						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名			関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)	事業名			
市町との連携状況						他県の状況						

被災商店街復興にぎわい創出事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦						
事業主体		商店街等組織				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法		補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率		10/10															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額																	
[予算額の推移等]												(単位:千円)					
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移					0												
2月現計予算額の推移				20,000	0												
決算額の推移				0													
前年度までの 主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	事業後の歩行者通行量が増 加した事業者数 (目標) 実績				(10)				交付要領21条に定める実施効果の報告を受けて、 事業実施前と比べ歩行者数の増加がみられた事業者の数								
活動指標	補助実施件数 (目標) 実績				(10) 8		— —	— —	各市町に聞き取りを行い申請可能性が高いと判断した事業者数								
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価									
【採択結果】 1次公募2次締切:敦賀駅前商店街振興組合、福井ショッピングモール、 三国商業振興協同組合(事業廃止) 1次公募3次締切:福井ショッピングモール、東部商業開発事業協同組合、 ゴールドショッピングセンター 2次公募1次締切:東尋坊観光協会 2次公募2次締切:東部商業開発事業協同組合 3次公募1次締切:ゴールドショッピングセンター								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額						
								□ 継続	□ 休止	■ 完了							
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他							

おもてなし産業魅力向上支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体		(公財)ふくい産業支援センター			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョンにおける位置付け		分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]			関連する県の計画等		ふくいNEW経済ビジョン、ふくい創生・人口減少対策戦略、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～、ふくい観光ビジョン					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業を機に、多くの観光客やビジネス客が訪れるなかで、新幹線駅周辺を始めとする市街地や観光地の店舗等の受入れ態勢を強化し、観光客がより長く滞在し、満足度を高めていく必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] 【現状・課題】食・体験・学びを重点に新たなコンテンツ開発が必要 【取組みの方向性】体験プログラムの充実や食・体験・学びのツーリズム開発 ふくい観光ビジョン						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業を機に、多くの観光客やビジネス客が訪れるなか、駅周辺市街地や観光拠点周辺の店舗等における店舗改装・設備導入、体験・見学施設の整備・拡充について、重点的に支援する。												
[事業内容] 飲食店や宿泊施設、体験・見学施設などの店舗改装・設備導入を支援 対象:食品・工芸品等製造事業者、飲食店、土産品店、宿泊施設 県補助率:2/3[補助上限:3,000千円] 対象数:20事業者												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 20社						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 おもてなし商業エリア創出事業 (実績) ・ハード事業採択エリア 8市町 改修した個店では、売上増、来客数増が見られた。 ・ソフト事業採択エリア 5市 採択したエリアの歩行者通行量の増加が見られた。				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

おもてなし産業魅力向上支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦			
事業主体	(公財)ふくい産業支援センター				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	補助金					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金					<input type="checkbox"/> その他
補助率	10/10													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		70,373	57,373	60,310	60,243									
2月現計予算額の推移		66,882	56,984	58,377	56,954									
決算額の推移		66,500	54,404	54,208										
前年度までの 主な増減理由	令和4年度:商品開発支援メニューを廃止したため事業費が減少 令和5年度:応募事業者数が多かったことから、支援枠数を増加													
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	店舗改装等による売上額伸び率 (目標)	(10)	(10)	(10)	(10)		(10)	(10)	売上額対前年比10%増					
	実績	△ 6.5	△ 10.5	8.5	19.0									
活動指標	支援事業者数 (目標)	(25)	(19)	(20)	(20)		(174)	(174)	7年間で174事業者支援 (H30~R2:30件、R3:25件、R4:19件、R5~R6:20件)					
	実績	26	20	21	22									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・店舗改装・設備導入を22件支援し、成果指標の支援事業者の売上額伸び率を目標を超え達成した。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	60,243			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくいのはぴコインを活用した震災からの消費回復支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度						
事業実施方法	委託																	
補助率	-																	
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [Ⅲ 楽しみを広げる(創造力)]	政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]										
[解決すべき問題・課題] 能登半島地震の影響による消費活動の抑制						[問題・課題を表す客観的データ] 関係機関(商工会議所、金融機関、事業者)において宿泊や宴会でキャンセルが発生し、売上が減少 ※能登半島地震について「影響・被害があった」福井商工会議所会員企業数:約17% (福井商工会議所の調査より:「影響・被害があった」109社、「現時点では分からない」102社、「特段影響はない」435社)												
[事業目的]																		
[事業内容] ① プレミアム付き商品券の発行(166,000千円) 種 類:プレミアム付き商品券 8.3万セット(4,000円チャージで1,000円上乗せ) 飲食店限定商品券 8.3万セット(4,000円チャージで1,000円上乗せ) 使用店舗:プレミアム付き商品券 はぴコイン参加全店舗県内約3,800店舗 飲食店限定商品券 はぴコイン参加飲食店県内約 930店舗 ② システム構築、運営費、広報等(37,990千円) ③ 復興状況、急激な社会情勢の変化等にあわせたプレミアム付き商品券の発行(200,000千円)																		
[受益者] 県内の小売・飲食・サービス事業者						[想定される受益者数] はぴコイン参加店舗 3,800件												
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)										
市町との連携状況						他県の状況												

ふくいはぴコインを活用した震災からの消費回復支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託							<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	-							<input checked="" type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						0						
2月現計予算額の推移					403,990	0						
決算額の推移					0							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	プレミアム分使用額(千円)	(目標) 実績				(87,139) 94,540				第1、2弾プレミアム付き商品券(DX課実施)の使用実績		
活動指標	利用率(%)	(目標) 実績				(99.8) (99.5)				第1、2弾プレミアム付き商品券(DX課実施)の利用率		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価			
●全店舗応援 発行金額:307,160千円 ※5000円分 決済金額:305,752千円(利用率99.5%) ●飲食店応援 発行金額:167,945千円 決済金額:166,945千円(利用率99.4%) ⇒ 合計 発行金額:475,105千円 決済金額:472,698千円									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

インバウンド受入環境整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 政策〔		Ⅲ 楽しみを広げる(創造力) 10 北陸新幹線開業効果を最大化	〕 〕		関連する県の計画等	〔 ふくいNEW経済ビジョン、ネクストふくい観光ビジョン 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀開業を迎えたなか、主要観光地等でのインバウンド受入環境の整備が急務である。						県内の小売・サービス店舗におけるキャッシュレス決済導入率 67.5% (令和2年度県産業政策課調査結果)						
[事業目的]												
商業・サービス事業者に対して、キャッシュレス決済の整備にかかる費用を支援することにより、外国人観光客の消費拡大や利便性向上を図る。												
[事業内容]												
小売店、飲食店等におけるICカードリーダーなどキャッシュレス対応機器の導入に係る費用を支援 実施主体:県内の小売業、サービス業の事業者 県助成額:1事業者最大100千円 助成件数:800件												
[受益者] 県内の小売・サービス事業者						[想定される受益者数] 800事業者						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域商業活性化事業(小規模事業者キャッシュレス決済推進事業) (実績) キャッシュレス決済端末機整備支援 211件(H29~H30)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 インバウンド受入環境整備事業(個別免税店の登録・導入にかかる経費支援) (役割分担) 商業・サービス事業者に対して、本事業によるキャッシュレス決済の導入支援とともに、免税店の整備等にかかる費用を支援し、県内のインバウンド受入環境の整備を進める。					
市町との連携状況						他県の状況						

インバウンド受入環境整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	田中 睦				
事業主体		県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率							□ その他								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等]												(単位:千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					0										
2月現計予算額の推移				91,232	0										
決算額の推移				0											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	キャッシュレス導入支援件数 (目標) 実績				(800) 413		(800)	(800)	支援件数800件(令和6年度)						
活動指標	営業件数 (目標) 実績				(1,200) 1,827		(1,200)	(1,200)				支援件数×1.5倍			
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
各市町の観光協会ホームページに記載の観光関連の店舗へ聞き取りを行ったところ、導入可能性があるのは約400件であり、目標設定時に想定していた件数には至らなかったものの、現時点で支援を必要としている店舗へ支援を行うことができた。								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了					
								□ 整理統合	■ 廃止	□ その他					